福島民友　平成 30 年 5 月 19 日（土）

海上保安の連携強化

いわきで島サミット開幕

日本政府が太平洋に点在する16の島しょ国・地域を招いて地域課題を議論する第8回「太平洋・島サミット」が18日、いわき市で開幕した。19日の首脳会合では、港湾や船舶供与などのインフラ整備や、違法漁業対策を含む海上保安能力の向上へ向けた連携強化を確認。北朝鮮の非核化実現のため、国連安全保障理事会制裁決議の完全履行も申し合わせる。【3、25面に関連記事】

地元住民らが各国・地域首脳を歓迎したJR湯本駅前＝18日午前、いわき市

PALM8 いわき2018

安倍晋三首相は18日夜、本県産の食材を用いた夕食会で「広大な海で結ばれた島国同士の絆をさらに強いものとし、地域の諸課題に取り組むパートナーシップを強化していく」と意欲を示した。

首相は19日の首脳会合で、自身が掲げる「自由で開かれたインド太平洋戦略」の推進を呼び掛ける方針。法の支配に基づく海洋秩序構築の重要性を共有したい考えだ。気候変動や防災分野での支援継続を打ち出し、日本企業による投資や人的交流の活性化も表明する。こうした成果を盛り込んだ共同宣言を19日に採択する予定だ。

夕食会に先立ち、安倍首相はパラオのレメンゲサウ大統領やミクロネシア連邦のクリスチャン大統領ら7カ国の首脳と個別に会談。それぞれ地域の発展を後押しする意向を伝えた。

太平洋・島サミット 政府がオセアニア地域の協力機構「太平洋諸島フォーラム(PIF)」加盟国首脳らを招き、環境や防災、海洋資源など地域が直面する課題を話し合う会議。1997年に始まり、3年ごとに日本で開いている。今回は8回目で、新たにPIFに加盟したフランス領のポリネシアとニューカレドニアの2地域が加わり、16の島しょ国・地域が参加。オーストラリアとニュージーランドの閣僚も出席、計19カ国・地域となる。いわき市での開催は前回2015年に続き2度目。

復興に歩む姿伝える

3年前の前回に続いて2回目のいわき市開催となった第8回太平洋・島サミットで県、いわき市は、昼食会などを通して、太平洋島しょ国・地域の首脳らを歓迎し、確実に歩みを進める本県の復興の姿を伝えた。

サミットに先立ち知事主催の昼食会で内堀雅雄知事は「世界中からの温かい支援で着実に復興の歩みを進めている」と感謝した上で、風評と風化の問題など課題解決へ支援を求めた。

いわき海星高では市主催の慰霊行事が行われ、内堀知事や清水敏男市長が被災状況、復興の現状などを説明。安倍晋三首相と各国の首脳が津波で被災した同校で献花、黙とうした。首脳らはトマトのテーマパーク「ワンダーファーム」を訪問し、いわき産トマトの収穫を体験した。

主会場のスパリゾートハワイアンズで開かれた首相夫妻主催の夕食会では県産食材を使った料理が振る舞われた。

また、ダンスチーム「フラガール」が華麗な踊りを披露した。

福島民友　平成 30 年 5 月 19 日（土）

太平洋の絆 一層強く

首相「復興 確実に進む」

いわき市で18日開幕した第8回太平洋・島サミットでは、東日本大震災で被災したいわき海星高での慰霊行事や安倍晋三夫妻主催の夕食会、内堀雅雄知事主催の昼食会などを通し、困難を乗り越え、復興に向けて挑戦し続ける本県の姿が世界に発信された。【1面に本記】

夕食会

スパリゾートハワイアンズで夜、開かれた安倍晋三首相夫妻主催の夕食会では、安倍首相が「復興は確実に進んでいる」などとあいさつ。前回サミット開催当時から前進した復興状況をアピールした。

安倍首相は、いわき市薄磯地区の海水浴場が昨年再開したことなどを紹介し、「復興が大きく進んでいることを実感してもらえたと思う」などと述べた。

また、本県産品を使った料理に触れ「自分も毎日福島産米を食べている。安全で安心でおいしい」と県産品の品質と安全性を伝えた。会場では余興の着物ショーやフラガールのステージなどが繰り広げられた。

昼食会 知事「本県の魅力伝えて」

知事主催昼食会場であいさつする内堀知事＝18日午前、いわき市・パレスいわや

パレスいわやで催された内堀雅雄知事主催昼食会では、内堀知事が「本県の美しい自然や豊かな食、温かいもてなしに触れ、魅力を貴国の皆さんに伝えてほしい」などと英語で歓迎の言葉を述べた。

内堀知事は「世界中からの支援で復興への歩みを進めている」と謝辞を述べ、2015（平成27）年の前回開催からさらに進んだ復興状況を強調。一方で、「風評と風化の問題など課題は山積していることも現実」とし、「支援、協力をお願い申し上げます」と呼び掛けた。共同議長国のサモアのツイラエパ首相・外務貿易相があいさつ。清水敏男いわき市長が乾杯した。

“福島一色”のもてなし弁当

知事主催の昼食会では肉、野菜、魚など県産品を使用した「福島一色」の弁当が振る舞われた。

カツオの焼浸しやサンマのみりん干し、メヒカリの一夜干しなど「いわきオールスター」の料理で、要人たちに同市の食文化を伝えた。メヒカリは本県沖での試験操業で水揚げされたもので安全性をアピールした。調理を担ったのは県内の料理人と農産物生産者でつくる「FSKitchen（エフズキッチン）」の料理人たち。代表理事で萩フランス料理店オーナーシェフの萩春朋さん(42)は「一つの弁当を作れるほど豊かな食材のある福島を知ってもらい、食の信頼を取り戻せれば」と期待を込めた。

各国首脳らの前でじゃんがら念仏踊りを披露する生徒＝18日午後（代表撮影）▼

いわき海星高生 じゃんがら披露

鎮魂の思いは今も

◀いわき海星高で行われた慰霊行事で献花し黙とうする安倍首相夫妻㊨とツイラエパ首相夫妻＝18日午後（代表撮影）

いわき海星高で行われた慰霊行事では、同校の生徒と教諭でつくるチーム「じゃんがら」が、いわき市無形民俗文化財に指定され、亡くなった人々の冥福を祈る「じゃんがら念仏踊り」を各国・地域の首脳らの前で披露した。

安倍晋三首相夫妻と共同議長国サモアのツイラエパ首相・外務貿易相夫妻が献花。各国・地域の首脳らが黙とうをささげ、震災の犠牲者の霊を慰めた。

吉野正芳復興相は、これまでの支援に対する感謝の気持ちを伝え、「復興を成し遂げることが亡くなられた方々に対する何よりの供養。復興に全力で取り組む」と誓った。

清水敏男いわき市長は小名浜港周辺の復興状況などを説明、「復興に向けて歩むいわきの姿を世界に発信してほしい」と協力を呼び掛けた。

いわき海星高では震災で生徒2人の命を失った。チーム「じゃんがら」のリーダー中川沙月さん(17)＝食品システム科3年＝は「先輩2人が亡くなっていることもあり、鎮魂への思いを込めて踊った。復興もPRできた」と語った。

慰霊行事に出席したいわき市の根本利恵子さん(72)の夫節さん＝当時(73)＝は同校近くで津波に遭い、亡くなった。利恵子さんは「夫はじゃんがらが好きだった。高校生のじゃんがらに夫も喜んでいると思う。各国の首脳らにも慰霊していただき、ただただありがたい」と話していた。